

●長年ご使用のストロボ機器の点検をぜひ！

愛情点検	<p>こんな症状はありませんか</p> <ul style="list-style-type: none"> ●スイッチを入れても所定の時間で充電しない ●通電中に異音、異臭、あるいは発煙する ●ヒューズがすぐ切れる ●ストロボ電源部やヘッドに触るとビリビリと電気を感ずる ●その他の異常や故障があるとき 	<p>このような症状のときは直ちに使用を中止し、ACプラグをコンセントから抜いて、当社営業所または販売店にご相談ください。</p>
------	---	---

- ストロボは内部に高電圧を蓄える機器です。誤った操作、または異常を無視して使用すると、使用する人々への危害、または物的損害を与えることが予測されます。取扱説明書の操作方法に従い、「警告」「注意」などを守って安全にお使いください。
- 上記のような症状がなくても1年に1～2回は点検を受けられるようおすすめします。



ご注意ください

本機を「後幕シンクロモード」を有するカメラで撮影されるときは、必ず「先幕シンクロモード」でご使用ください。

- 「後幕シンクロモード」で撮影した場合、シャッタースピードとは関係なく写真に露光ムラが生じることがあります。
- 「先幕シンクロモード」で撮影した場合も、シャッタースピードは1/60秒よりも遅いシャッタースピードでご使用ください。

アフターサービスについてのご相談は

COMET®

コメット株式会社

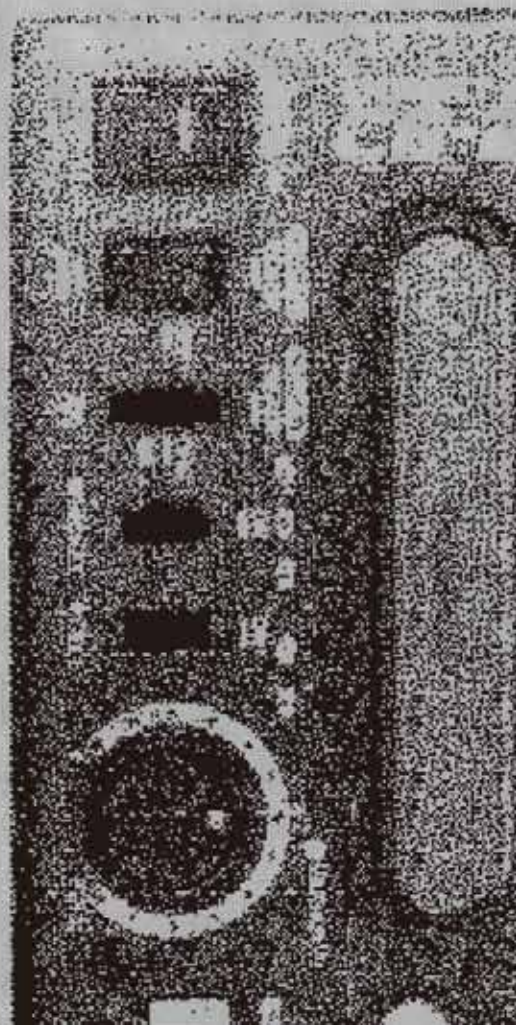
本社	〒102-0071	東京都千代田区富士見1-4-8	TEL.03(3264-8621)	FAX.03(3264-6395)
札幌営業所	〒064-0808	札幌市中央区南5条西12丁目	TEL.011(561-2488)	FAX.011(563-2620)
仙台営業所	〒981-8003	仙台市青区南光台4-29-25 (1714ビル)	TEL.022(727-8521)	FAX.022(727-8623)
東京営業所 営業課	〒135-0023	東京都江東区平野2-10-20	TEL.03(5245-3631)	FAX.03(5245-3835)
東京営業所 コマーシャル課	〒135-0023	東京都江東区平野2-10-20	TEL.03(5245-3631)	FAX.03(5245-3835)
東京営業所 デジタルイメージング	〒135-0023	東京都江東区平野2-10-20	TEL.03(5245-3631)	FAX.03(5245-3835)
名古屋営業所	〒461-0044	名古屋市東区矢田東3番8号	TEL.052(719-0155)	FAX.052(712-9077)
大阪営業所 営業課	〒550-0015	大阪市西区南堀江2-9-22	TEL.06(8536-0671)	FAX.06(8536-1020)
大阪営業所 コマーシャル課	〒550-0015	大阪市西区南堀江2-9-22	TEL.06(8536-1667)	FAX.06(8536-1020)
広島営業所	〒730-0831	広島市中区江国西1-7-16 リラハイ	TEL.082(293-0075)	FAX.082(293-0078)
高松営業所	〒761-0032	高松市鶴市町1035-7	TEL.057(661-6344)	FAX.057(661-6342)
福岡営業所	〒812-0042	福岡市博多区豊2-1-4	TEL.092(411-1202)	FAX.092(411-1209)
福岡営業所 コマーシャル課	〒812-0042	福岡市博多区豊2-1-4	TEL.092(411-1254)	FAX.092(411-1209)
一般建築士事務所	〒102-0071	東京都千代田区富士見1-4-6	TEL.03(3264-8623)	FAX.03(3264-6906)
海外事業部	〒102-0071	東京都千代田区富士見1-4-6	TEL.03(3264-8692)	FAX.03(3264-6395)
ストロボクリニック部 本部	〒102-0071	東京都千代田区富士見1-4-6	TEL.03(3234-8081)	FAX.03(3234-1356)

COMET

CB-III & CBW Series

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。



はじめに

このたびは、コメントCB-III、CBW電源部をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございます。

本機はロケーション撮影に求められる超小型軽量をコンセプトとして開発されました。しかも、上級機と変わらない高精度1/6ステップのバリエーターと光量が1/3ステップづつ3段階にシフトするオートブラケット機能を搭載したハイパフォーマンスなストロボ電源部です。さらにCBWは、この基本性能にプラスして世界中でご使用いただけるようAC110V/220V±10%(50/60Hz)を自動切換するワールドボルトageタイプです。

なお、ご使用になる前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、注意事項や使用方法を十分ご理解いただいたうえでご利用ください。

付属品

- ACコード (インレットタイプ) 3.5m 1本
- CX-シンクロコード 5m 1本
- ヒューズ ストロボ用 2本 / モデリングランプ用 1本
- 取扱説明書 ● 保証書

目次

1. 安全のため特にご注意ください	1~4
2. 使用上のご注意とお願い	5
3. 各部の名称とはたらき	6~7
4. 操作手順	8~9
5. オートブラケット	10~11
6. 出力バリエーター	12
7. モデリングランプモード	13
8. 充電モード	14
9. サウンドモード	14
10. フォトセル	15
11. 不発光警報	15
12. 過熱警報	16
13. ヒューズの交換とヒューズ定格	16~17
14. 保証とアフターサービス	18
15. 仕様	19~21

1 安全のため特にご注意ください

- ご使用の前に、この説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、この機器を使う人への危害、または物的損害を未然に防止するための注意です。
- 注意事項は危害や損害の大きさと切迫の度合いを明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「危険」「警告」「注意」の3つに区分しています。

いずれも機器を安全にお使いいただくために重要な内容ですので、必ず守ってください。

危険：人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容。

警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

注意：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

絵表示の意味



△記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容(左図は感電注意)を示しています。



⊘記号は、禁止行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図は分解禁止)を示しています。



●記号は、具体的な指示内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図はプラグをコンセントから抜いてください)を示しています。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

警告



■修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないでください。

電源部は、メインスイッチを切りACコードをコンセントから抜いた後も、内部には長時間高電圧が残っており、感電の恐れがあります。また、発光部も電源部へ接続した状態では高電圧がかかっており危険です。十分注意をしてください。



■水に濡れる場所や湿度の高い場所での使用、また手足が濡れた状態や素足での操作はしないでください。

漏電による感電の恐れがあります。



■電源部の出力コネクタ金属部には、絶対に触れないでください。

電源部は、メインスイッチを切った後も高電圧が残っており、感電の恐れがあります。



■電源部やヘッドのスリット部には金属などの異物を絶対入れないでください。

感電、ショートによる発火の恐れがあります。



■感電防止のため、必ずアース(接地)してください。

アース線を接続するときは、機器のメインスイッチを切り、ACコードをコンセントから抜いて行ってください。

アース線は絶対にガス管にはつながないでください。



■使用中のヘッドに水滴などがかからないようにしてください。

使用中のヘッドはキセノン管、モデリングランプが高温になっています。水滴などがかかるとガラスが破裂する恐れがあり、大変危険です。取扱いには十分注意をしてください。



■ヘッドコードプラグは電源部の出力コネクタに確実に差し込んでください。また締め付けリングのあるタイプは差し込み後、リングを回転し締めつけてください。

プラグの接続が不確実な場合、スパークにより発火の恐れがあります。



■ヘッドは発光時、高温の熱を発生します。人体に向けて近い位置で発光させたり、可燃物に向けての使用は絶対にしないでください。火傷や火災の恐れがあります。



■揮発性のガソリン、シンナー、可燃性ガスなどを使用している場所や、大量の粉塵が舞っている室内などでは絶対に使用しないでください。爆発、火災、火傷の恐れがあります。



■使用電圧はCB-IIIがAC100V±10%(50/60Hz) CBWはAC110V±10%(50/60Hz)または、AC220V±10%(50/60Hz)です。

異なる電圧で使用すると発火、火災の原因となります。

■ACコードプラグやヘッドコードプラグを着脱する時は必ず電源部のメインスイッチ、モデリングランプスイッチを切ってください。

急激に大電流が流れ、ショートによる火傷、発火の恐れがあります。



⚠ 注意



- 使用中や使用直後のヘッドは、かなりの高温になっています。十分温度が下がってから取り扱ってください。
火傷の恐れがあります。



- ヘッド使用中は、紙や布または樹脂系のシートなど可燃物を近づけたり、覆っての使用はしないでください。
使用中はかなりの高温となり発火、火災の恐れがあります。



- ヒューズやモデリングランプは弊社指定の定格品を使用してください。
定格品以外の使用は発火、火災の原因となります。



- 落としたり衝撃が加わったときは、直ちに使用を中止し、弊社、またはご購入店で点検を受けてください。
外観的な変形がなくても内部の電子部品などの損傷で、感電や漏電の恐れがあります。
コードの被覆損傷のときも同様に点検を受けてください。

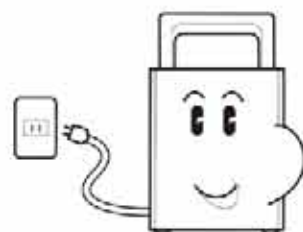


- 使用後は安全のために必ずACコードをコンセントから抜き取ってください。



2 使用上のご注意とお願い

- サイリスタやトライアックを使用した半導体式調光機を介してのご使用はおやめください。故障の原因となります。
- CLX-25miniGヘッド以外のヘッドをご使用の際は、そのヘッドの最大入力(ストロボおよびモデリングランプ定格)にご注意ください。
定格の合わないヘッドの使用は故障の原因となるだけではなく大変危険です。
- 使用されないときでも1か月に1~2回は通電することをお勧めします。
3か月以上使用しなかったときは、最低4時間通電だけを行い、その後ご使用ください。

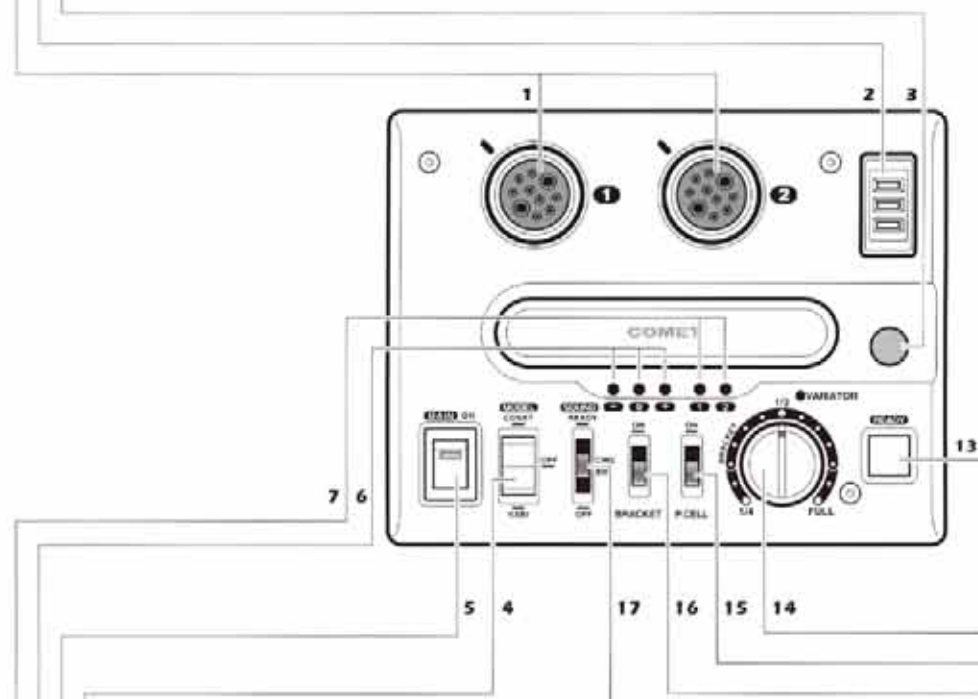


- 赤外シンクロ装置(当社製)の受信器は、室内の蛍光灯から離れた場所にセットしてください。
蛍光管から出る赤外線により、誤動作を起こすことがあります。
- 赤外シンクロ装置(当社製)を使用するときは、使用する各々の電源部に受信器をセットし、これらすべての電源部のフォトセルスイッチを必ず「OFF」にしてください。
赤外シンクロ受信器を使用している場合でもフォトセルスイッチが「ON」のとき、同調発光しない電源部が出る場合があります。

3 各部の名称とはたらき

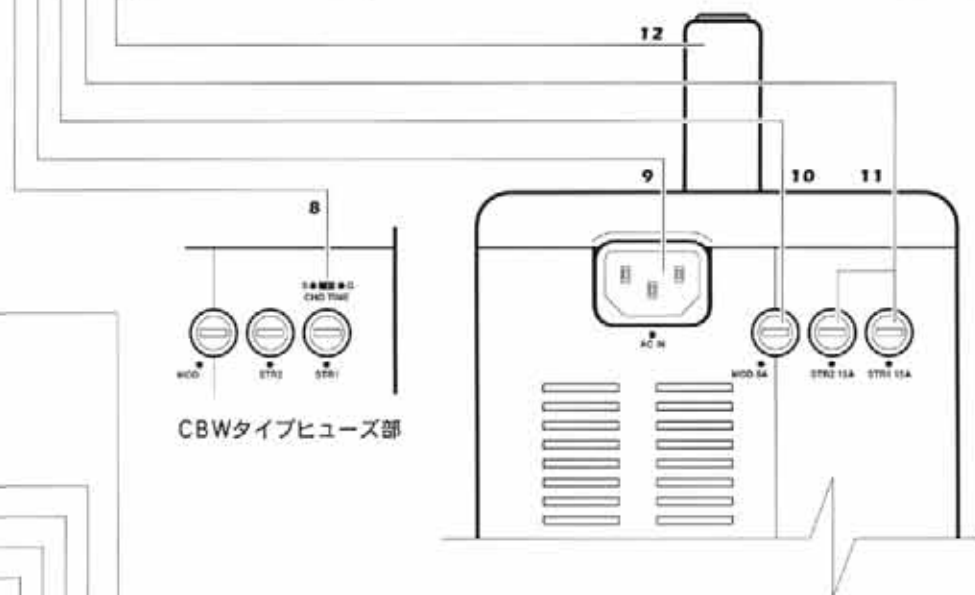
●ここに示す図はCBW-2400H電源部です。

名称	はたらき	参照頁
1 出カコネクター (1・2)	ヘッドを接続します。着脱時はメインスイッチを「OFF」にしてください。	8頁
2 シンクロソケット	CXタイプのシンクロコード(付属品)でカメラと接続します。	9頁
3 フォトセル	他のストロボ光を受けて同調発光させるための受光部です。	15頁



名称	はたらき	参照頁
4 モデリングランプスイッチ (MODEL)	モデリングランプを「調光」「100%点灯」または「OFF」に切り換えるスイッチです。	9・13頁
5 メインスイッチ (MAIN)	AC電源スイッチです。パイロットランプは「ON」のとき点灯し、内部電子部品が所定温度以上になるとブザー音と共に点滅します。	8・16頁
6 ブラケットポジションランプ (-・0・+)	ブラケットスイッチが「ON」のときは「+」「0(適正)」「-」の順に1/3ステップずつ出力が変わりランプが点灯します。	10・11頁
7 不発光表示 (1・2)	不発光が生じたとき該当する番号のランプが点滅し、ブザーの連続音で知らせます。	15頁

名称	はたらき	参照頁
8 充電モードスイッチ (CHG TIME)	AC電源容量に合った充電モードに切り替えます。 ※CBWタイプのみ機能です。	14頁
9 ACコネクター (AC IN)	ACコード(付属品)で電源部とACコンセントを接続します。	8頁
10 モデリングランプヒューズ (MOD)	モデリング回路を保護します。 ヒューズ定格をお守りください。	16・17頁
11 ストロボヒューズ (STR 1・2)	ストロボ回路を保護します。 ヒューズ定格をお守りください。	16・17頁
12 把手	スベアヒューズが収納されています。	16頁



名称	はたらき	参照頁
13 レディランプ/テスト発光スイッチ (READY)	充電が完了すると点灯します。 点灯している部分を軽く押すと発光します。	9・14頁
14 出力バリエーター (VARIATOR)	出力をFULLから1/4まで1/6ステップで調光します。	12頁
15 フォトセルスイッチ (P・CELL)	他のストロボ光を受けて同調発光させるとき「ON」にします。	15頁
16 ブラケットスイッチ (BRACKET)	露光量を変えて撮影するとき「ON」にします。	10・11頁
17 サウンドモードスイッチ (SOUND)	「充電完了音」「充電中音」または「OFF」にするスイッチです。	14頁

4 操作手順

■ 1. ヘッドコードを電源部へ接続してください。

ヘッドを準備し、ヘッドコードを電源部の出力コネクターへ接続します。“カチッ”と音がするまで十分に差し込んでください。



注意

- コネクターを確実に差し込んでください。差込が不完全な場合、発光時に流れる大電流によりコネクターがショートし、発火の恐れがあります。また、コネクターを着脱するときはメインスイッチ (MAIN) を必ず「OFF」にしてください。
- CBW電源部をご使用になる方は、必ず使用電圧に合った定格のモデリングランプとヒューズがセットされていることを確認してください。

■ 2. サウンドモードを選択してください。

充電状態を知らせるサウンド (SOUND) が必要なときは、充電中音 (CHG)、充電完了音 (READY) のいずれかにセットします。

- 警報音は、サウンドモードに関係なく鳴ります。

▶ 詳細は14ページをご参照ください。



■ 3. ACコードを接続してください。

電源部のメインスイッチ (MAIN) が「OFF」になっていることを確かめてから、ACコードを電源部のACコネクターへ、十分に差し込んでください。そのあと、ACコードをコンセントへ差し込みます。



■ 4. メインスイッチを「ON」にしてください。

メインスイッチ (MAIN) を「ON」にします。パイロットランプが点灯して充電が始まります。



■ 5. モデリングランプのモードを選択してください。

モデリングランプスイッチ (MODEL) でモデリングランプの点灯モードを選択します。

▶ 詳細は13ページをご参照ください。



■ 6. 充電の完了。

充電が完了すると、レディーランプ (テスト発光スイッチ) (READY) が点灯し、発光準備が完了します。



■ 7. テスト発光をしてください。

テスト発光スイッチ (READY) を軽く押して、接続したヘッドが正常に発光していることを確かめてください。

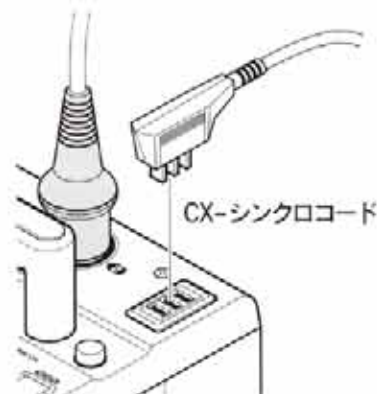
■ 8. カメラとのシンクロを確認してください。

シンクロコードでカメラと接続し、カメラ側からの発光テストをします。

- 本番撮影をされる前に実際のフィルムもしくはインスタントフィルム等でカメラのシンクロ (同調) テストをされることをお勧めします。

【お願い】

- カメラまたはレンズにM/X接点があるときは、必ずX接点を使用してください。
- フォーカルプレーンシャッターのカメラを使用のときは、シャッター速度を1/60～1/30で使用してください。
- カメラによっては、シンクロに極性のあるものがあります。このときはシンクロコードプラグを逆に差し込み、極性を合わせてください。



5 オートブラケット

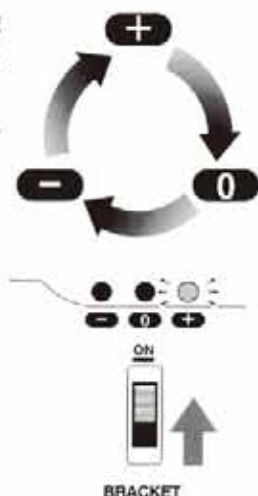
オートブラケット機能は、カメラのレンズ絞りを変えずにストロボ出力が「+1/3 EV」・「適正」・「-1/3 EV」と3段階にスライドする機能です。オートブラケットを使用するときはブラケットスイッチ (BRACKET) を「ON」にします。ブラケットポジションランプの「+」が点灯しスタンバイ状態となります。

最初の出力は「+1/3 EV」から始まり、以降ワンショット毎に「適正」→「-1/3 EV」と自動的に出力をシフトします。

なおこの機能は、ブラケットスイッチ (BRACKET) を「OFF」にするまで何度でも繰り返せます。

■ 便利メモ

ブラケットスイッチ (BRACKET) を「ON」にすると、いつでも「+1/3 EV」から始まりますが、違うポジションから始めたいときは、希望する値のブラケットポジションランプが点灯するまで空発光させてください。



■ オートブラケット時のサウンドモード

サウンドスイッチ (SOUND) を「CHG / BR」モードにセットしておく、ブラケットスイッチ (BRACKET) を「ON」にしている間中ブザー音が鳴り、ブラケットモードになっていることを知らせします。

なお、ブラケットポジション「-・0・+」によりブザー音がそれぞれ異なります。

+	Pi · Pi · Pi
0	PPi · PPi · PPi
-	PPPi · PPPi · PPPi

なお、サウンドスイッチ (SOUND) が「READY」モードのときは、ブラケットスイッチに関係なく充電完了時ブザーが鳴ります。

■ オートブラケット範囲外エラー

バリエーター (VARIATOR) がブラケット範囲 (BRACKET) 以外のポジションにあるとき、オートブラケットが正確にカバーできず機能しません。

この状態のときは、ブラケットポジションランプ「-・0・+」3個の点滅とブザー音で範囲外であることを知らせます。

● 警報音は、サウンドモードに関係なく鳴ります。

オートブラケット範囲外エラー警報を止めるときは、ブラケットスイッチ (BRACKET) をいったん「OFF」にして、出力バリエーターを調節します。オートブラケット範囲は±1/3 EVですから、出力バリエーターの現ポジションの前後に2目盛の余裕が必要です。

このことを考慮し適切なポジションを選択します。



【お願い】

● 3ショットが「+」で終了してブラケットスイッチ (BRACKET) を「OFF」にしたとき、ストロボエネルギーは1/3オーバーの状態になっています。適正値に戻すため一度、空発光をしてください。

● 撮影途中でミスショットがあったときは、空発光し、ミスショットをしたポジションにセットしてから始めてください。

● ブラケットスイッチ (BRACKET) を「ON」にしたとき、本機はその直前の出力バリエーターの出力値を記憶します。このためブラケットがはたらいている間は出力バリエーターを操作しても出力は変化しません。出力値を変更するときは、ブラケットスイッチ (BRACKET) を「OFF」にってから出力バリエーターを操作してください。

6 出力バリエーター

出力バリエーター (VARIATOR) は、FULLから1/4までを1/6ステップで調光します。

■ 出力バリエーター (VARIATOR) を下げたとき

本機は電圧調光方式を採用しています。このため出力バリエーターを下げて内部のメインコンデンサーに蓄められている電気エネルギーは、直ちに新たな設定出力値までは下がりません。

この場合は、一度空発光させてください。充電が完了すると新たな出力値に設定されます。

■ 出力バリエーター (VARIATOR) を上げたとき

設定された出力値まで自動的に充電が行なわれますので、空発光操作は必要ありません。

この場合、レディーランプがいったん消灯し、充電が完了すると再点灯します。



【ご注意】

ブラケットスイッチが「ON」になっていると出力バリエーターは機能しません。

7 モデリングランプモード

■ CONST

出力バリエーターに関係なく、モデリングランプが100%の明るさで点灯します。

■ OFF

モデリングランプを消灯します。

■ VARI

モデリングランプをストロボ出力と連動して調光します。



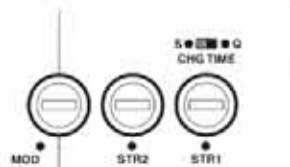
注意 (C BWタイプのみ)

- モデリングランプは使用電圧 (AC100V/AC200V±10%) によって異なります。使用電圧に合った定格電圧のモデリングランプをご使用ください。

8 充電モード

●この機能はCBWタイプのみです。

使用状況や電力事情によって電源容量が不足のときに、ポディー側面にある充電モードスイッチ (CHG TIME) のスロー充電モード (S) で使用することができます。



■ 充電時間とAC電源容量

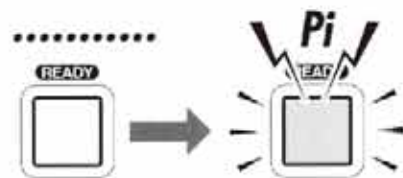
		CBW-1200		CBW-2400	
		充電時間	AC電源容量	充電時間	AC電源容量
110V	クイック	3.5秒	10A	3.9秒	15A
	スロー	7.1秒	6A	8.7秒	10A
220V	クイック	3.1秒	10A	3.6秒	10A
	スロー	5.9秒	5A	7.6秒	6A

●充電時間は50Hzで表記しています。

9 サウンドモード

■ READY

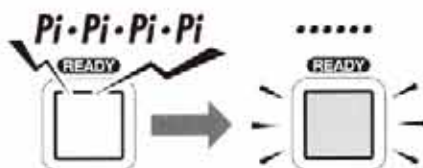
充電が完了したときに、ブザーが鳴ります。



■ CHG/BR

充電中にブザーが鳴り、完了したときにブザーが止まります。なお、ブラケットスイッチ (BRACKET) が「ON」になっているときは、ブラケットモードのブザー音になります。

※詳細は11ページをご参照ください。



■ OFF

充電状況を確認するためのブザー音を切ります。

●警報音は、サウンドモードに関係なく鳴ります。

10 フォトセル

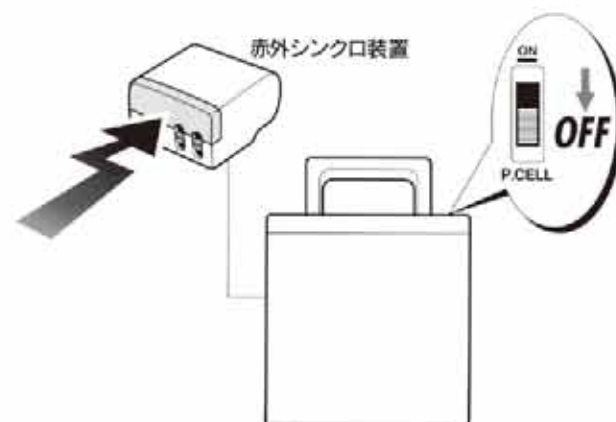
他のストロボ光を受けて同調発光させたい場合、「ON」にしてください。

【お願い】

●赤外シンクロ装置を使うときは必ず「OFF」にしてください。

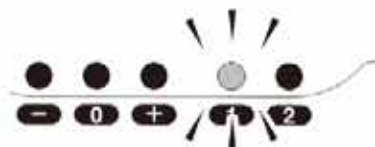
●フォトセル受光部周辺に直射日光など強い光が当たると作動しないことがあります。

●同調発光させないときも「OFF」にしてご使用ください。



11 不発光警報

発光操作をしても、何らかの原因で発光しないとき、ブザーが鳴り、同時に該当する不発光表示が赤色に点滅して、どの出力コネクターに接続されたヘッドに不発光が生じたかを知らせます。充電完了前に発光操作を行ったときは、発光せずに該当する不発光表示が点灯します。



●警報音は、サウンドモードに関係なく鳴ります。

■ 警報の解除

不発光警報の解除は、充電完了後ふたたび発光操作をして正常に発光すれば自動的に解除されます。また、メインスイッチ (MAIN) をいったん「OFF」にすることも解除できます。

12 過熱警報

長時間の連続発光などにより内部の電子部品が所定の温度以上になったとき、メインスイッチ (MAIN) のパイロットランプが点滅し、ブザーの連続音で知らせます。このときは、ただちに使用を中止してください。



●警報音は、サウンドモードに関係なく鳴ります。

■ 警報の解除と放熱

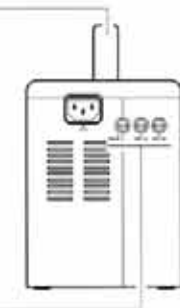
メインスイッチ (MAIN) をいったん「OFF」にし、ふたたび「ON」にしてください。これで警報音は止まりますがパイロットランプは点滅し、まだ過熱状態であることを知らせます。また、モデリングランプスイッチ (MODEL) は「OFF」にします。冷却を早めるため、このままの状態でも発光させずに放熱します。電源内部の温度が所定の温度以下になるとパイロットランプが点灯し使用できる状態に戻りますが、完全に温度が下がったわけではありませんので、連続発光は避けてください。

13 ヒューズの交換とヒューズ定格

■ ヒューズの交換

該当するヒューズホルダーの蓋を⊖ドライバーで外し、断線したヒューズを取り出します。切れたヒューズと同じ定格のものと交換してください。

スペアヒューズは把手の中に収納されています



ヒューズホルダーはポディー側面にあります

■ ヒューズ定格

CB-1200 III / 2400 III

	CB-1200 III	CB-2400 III
ストロボ (STR 1 / 2)	10 A 2本	15 A 2本
モデリングランプ (MOD)	6 A 1本	6 A 1本

CBW-1200 / 2400

	CBW-1200		CBW-2400	
	110V	220V	110V	220V
ストロボ (STR 1 / 2)	8 A 2本	6 A 2本	10 A 2本	8 A 2本
モデリングランプ (MOD)	6 A 1本	3 A 1本	6 A 1本	3 A 1本



注意

- CBWを海外でご使用になる場合、ご使用になる場所がAC 100V地域からAC 200V地域に、またAC 200V地域からAC 100V地域に変わったときは、表にしたがってヒューズを交換してください。
(AC 100V地域とはAC 100V / 110V / 120Vの地域を指します。またAC 200V地域とはAC 200V / 220V / 240Vの地域を指します。)
- ヒューズ交換は、メインスイッチ (MAIN) を「OFF」にし、必ずACコードのプラグをコンセントから抜いて行ってください。
- ヒューズは必ず表示されている定格のものを使用してください。定格以外の使用は発火や火災の原因となります。

14 保証とアフターサービス

■保証書と保証期間

添付された保証書に「販売店名・ご購入日」など、所定事項の記載もれがないかをご確認のうえ大切に保存してください。なお、保証期間はご購入日から一年間です。

本製品に、純正部品・純正アクセサリ以外のものを使用することによって生じた故障・事故、および本取扱説明書で明記した注意・禁止された事項をお守りにならずに生じた故障・事故については一切の責任を負いかねます。

また、消耗品類は保証の対象となりません。詳しくは保証書の保証規定をご参照ください。

■保証期間終了後の修理

保証期間後でもご要望により有償で修理いたします。引き続き安心してご使用いただけます。

■アフターサービス

すべてのコメント製品は、厳重に調整・検査して出荷されていますが、万一故障になったときはご購入店または弊社営業所へご連絡ください。

■修理・点検へお出しになる際のご注意

修理・点検にお出しになる際は、電源部・ご使用中のすべてのヘッド・ヘッドコード・ACコード・シンクロコードをセットにしてご依頼ください。

迅速なアフターサービスをさせていただきます。

保証期間中のものは必ず保証書を添付してください。保証期間後のものは保証書に記載されている製品名・型式・ご購入年月日をお知らせください。

また、修理にお出しになる前にACプラグが抜けてないか、ヒューズ、ブレーカーが切れていないかをお調べください。

■修理・点検後のご注意

修理伝票は修理完了品に添付してあります。

修理内容が明記されておりますので、修理品をお受け取りになる際に確認してください。

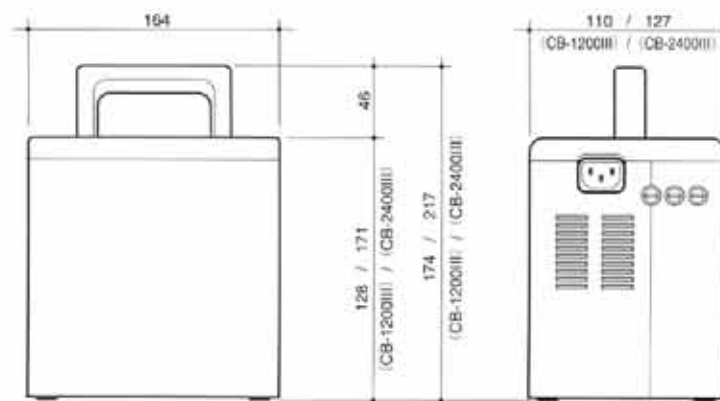
また、修理伝票は次回の修理に必要となることがありますので大切に保存してください。

15 仕様

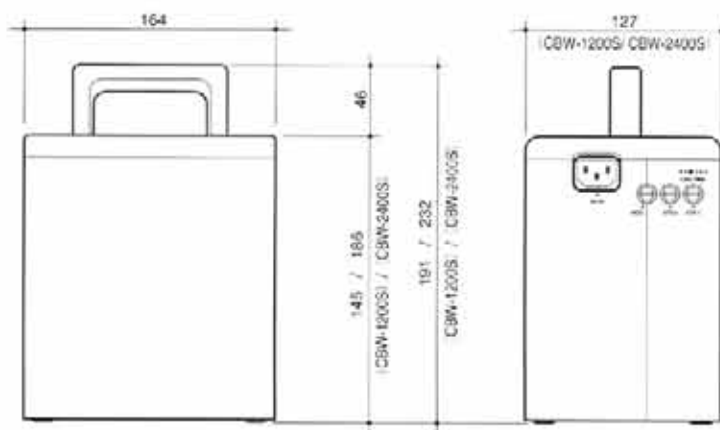
品名	CB-1200III 電源部	CB-2400III 電源部
型式	CB-1200III	CB-2400III
定格電圧	AC 100V ±10% 50/60Hz	
ヒューズ定格	ストロボ 10A 2本	ストロボ 15A 2本
	モデリングランプ 6A 1本	モデリングランプ 6A 1本
最大出力	1200Ws	2400Ws
出力灯数	2	
ストロボ調光方式	電圧調光方式 1/6EVステップ クリックストップ	
ストロボ調光範囲	FULL~1/4	
出力表示	調光バリエーター目盛	
オートブラケット	+1/3EV → GOOD → -1/3EVを自動切換 (スイッチ付)	
モデリング調光モード	1. 出力連動調光 2. コンスタント 3. OFF	
充電時間	50Hz 3.2秒 / 60Hz 2.7秒 50Hz 3.5秒 / 60Hz 2.9秒	
レディランプ	内蔵 (テスト発光スイッチ兼用)	
シンクロソケット	3PBF 1個	
シンクロ電圧	DC 12V	
フォトセル	内蔵 (スイッチ付)	
サウンドモード	充電完了音 (READY) / 充電中音 (CHG・BR) / OFF	
不発光警報	ブザーによる連続音および該当する不発光表示点滅	
過熱警報	ブザーによる連続音およびACパイロットランプ点滅	
クーリングファン	内蔵	
寸法	164 (w) × 174 (h) × 110 (d) mm	164 (w) × 217 (h) × 127 (d) mm
重量	2.6kg	4kg

品名	CBW-1200S 電源部	CBW-2400S 電源部
型式	CBW-1200S	CBW-2400S
定格電圧	AC 110V ± 10% 50/60Hz	
	AC 220V ± 10% (自動切換) 50/60Hz	
ヒューズ定格	110V	ストロボ 8A 2本 モデリングランプ 6A 1本
	220V	ストロボ 6A 2本 モデリングランプ 3A 1本
		ストロボ 10A 2本 モデリングランプ 6A 1本
	ストロボ 8A 2本 モデリングランプ 3A 1本	
推奨ブレーカー (2回路)	110V 220V	Q:10A/S:6A 以上 Q:10A/S:5A 以上
最大出力	1200	2400
出力段数	2	
ストロボ調光方式	電圧調光方式 1/6EVステップ クリックストップ	
ストロボ調光範囲	FULL ~ 1/4	
出力表示	調光バリエーター目盛	
オートブラケット	+1/3EV → 0 (適正) → -1/3EVを自動切換 (スイッチ付)	
モデリング調光モード	1. 出力運動調光 2. コンスタント 3. OFF	
充電時間 (50Hz)	110V	Q:3.5秒/S:7.1秒
	220V	Q:3.1秒/S:5.9秒
	110V	Q:3.9秒/S:8.7秒
	220V	Q:3.6秒/S:7.6秒
レディランプ	内蔵 (テスト発光スイッチ兼用)	
シンクロソケット	3PBF 1個	
シンクロ電圧	DC 12V	
フォトセル	内蔵 (スイッチ付)	
サウンドモード	充電完了音 (READY) / 充電中音 (CHG・BR) / OFF	
不発光警報	ブザーによる連続音および該当する不発光表示点滅	
過熱警報	ブザーによる連続音およびACパイロットランプ点滅	
クーリングファン	内蔵	
寸法	164(w) × 191(h) × 127(d) mm	164(w) × 232(h) × 127(d) mm
重量	3.4kg	4.6kg

CB-1200III/2400III 外観寸法



CBW-1200S/2400S 外観寸法



単位 mm

● 本仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
なお、この仕様は2001年6月現在のものです。